

## 網走地区サッカー協会 名称変更趣意書 (案)

本協会は、先人達が守りつないできた網走地区のサッカーを未来に向け、次世代に伝え継ぐために、2019年4月1日より「網走地区サッカー協会」の名称を改め、「オホーツク地区サッカー協会」とすることを、今ここに宣言します。

わたしたちは、サッカーに親しむことによって、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図るとともに爽快感・達成感・他者との連帯感等、精神的な充足も図り、更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進に大きな効果を得ています。また、サッカーに打ち込む選手のひたむきな姿や高い技術は、人々のサッカーへの関心を高め、夢や感動を与えるなど、活力ある健全な社会の形成にも大きく貢献するものです。

本協会は、オホーツク地域（3市14町1村）のサッカー界を統括し、サッカー競技の普及発展を図り、スポーツ振興と心身の健康な発達に寄与することを目的として活動しており、この事は今後も守り伝えていかなければならないと考えています。

まさに今、このオホーツク地域においては経済、産業、観光において幅広く「オホーツク」が統一された名称として使用されています。この地域に支えられ活動している当協会も、これに足並みを揃え、広く地域に根ざす団体としてのより一層の発展に向けた取組が求められています。

以上の事から、本協会はサッカーを通じてリスペクト精神を深く広め、またこの地域に必要とされる人材の育成に努めるとともに、サッカーという文化を後世に継承していくため、「網走地区サッカー協会」を「オホーツク地区サッカー協会」と改称し、改めて力強く歩みを進めていきます。

### 付記

なお、現在本協会の英語表記は“Abashiri Area Football Association”を使用している。以後、本協会の英語表記は“Okhotsk Football Association”（略称：OKFA）とする。

2018年 2月17日  
網走地区サッカー協会  
会長 榑原 尚行

## 参考資料

### 網走地区サッカー協会の沿革

- 1949年（昭和24年） 紋別北高等学校サッカー同好会が発足。
- 1950年（昭和25年） 紋別北高等学校サッカー部が創部。  
紋別サッカー協会設立、北海道サッカー協会紋別支部となる。
- 1955年（昭和30年） 社会人チームの紋別蹴球団が結成される。
- 1961年（昭和36年） 紋別支部は旭川協会に統合。
- 1976年（昭和51年） 旭川地区協会から分離・独立 紋別地区サッカー協会を設立。  
登録チームは社会人1、高校16、大学1の計18チーム。
- 1977年（昭和52年） 斜里町において高校総体道予選大会を主管する。
- 1978年（昭和53年） 北見工業大学を主会場として北海道大学体育大会を主管。
- 1979年（昭和54年） 網走支庁全域をエリアとする網走地区サッカー協会を設立。  
北見市に事務局をおく。
- 1998年（平成10年） 第1種40チーム、第2種24チーム、第3種27チーム、  
第4種24チーム、女子1チームの合計116チームの登録。
- 2016年（平成28年） 第1種24チーム、第2種14チーム、第3種33チーム、  
第4種25チーム、女子1チーム、シニア種5チームの合計  
102チームの登録。

現在に至る。